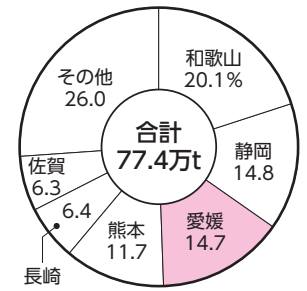


## 1. 競争力を高める取り組み

- (1) 資料Ⅰで愛媛県の部分に赤色で着色しよう。
- (2) 次の①～③にあてはまるかんきつ類を記入し、愛媛県でさまざまなかんきつ類が栽培されるようになった経緯をまとめてみよう。

| 1990年代以前      | 1990年代                   | それ以降                                        |
|---------------|--------------------------|---------------------------------------------|
| みかんが栽培の中心だった。 | アメリカ合衆国から(① オレンジ)が輸入される。 | 品種改良を重ね、伊予かんや(② セトカ)、(③ デコポン)などを栽培し、差別化を図る。 |

資料Ⅰ みかんの生産量

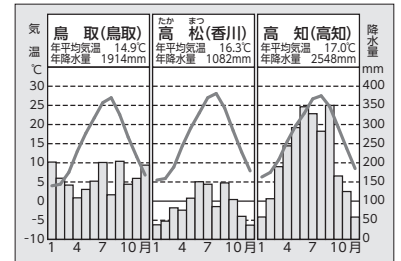


- (3) 生口島や岩城島では、みかん以外にどのようなかんきつ類の栽培が行われているか、地図帳で調べてみよう。
- (4) 瀬戸内では、なぜかんきつ類の栽培が盛んなのだろうか。資料Ⅱなどを参考に、さまざまな面から考えてみよう。

(例) レモン、ネーブル

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 資料Ⅱから   | (例) 冬も温暖で、日照時間が長く、降水量が少ないから。    |
| その他の面から | (例) 山がちで地形で斜面が多く、水はけや日当たりがよいから。 |

資料Ⅱ



- (5) 高知平野ではどのような野菜が栽培されているか、地図帳から調べてみよう。

(例) なす、ししとう、きゅうり、ピーマン、にら、しょうが など

- (6) 夏に旬を迎える野菜を、ビニールハウスなどを使って冬から春にかけて出荷する栽培方法を何といいますか。

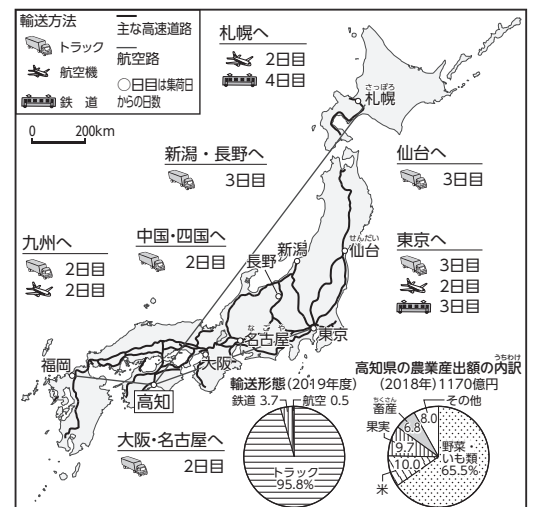
促成栽培

## 2. 交通網の発達による市場の拡大

資料Ⅲから、高知県の野菜の出荷先や輸送手段の特色をまとめてみよう。

| 輸送手段 | おもな出荷先       | 特色                     |
|------|--------------|------------------------|
| トラック | 全国各地         | (例) 道路があれば全国どこでも輸送できる。 |
| 鉄道   | (例) 東京 札幌    | (例) 一度に多くの野菜を輸送できる。    |
| 航空   | (例) 東京 札幌 福岡 | (例) 鮮度を保って出荷できる。       |

資料Ⅲ 高知県の農業産出額と野菜の輸送形態、主な出荷先への輸送手段



## 本時のまとめ

◆ 南四国ではなぜ促成栽培を行っているのか、図8や本文を参考に説明しよう。

(例) 冬でも温暖な気候を生かして、なすやピーマンなど、夏が旬の野菜を高値で取り引きされる冬から春に出荷できるようにするため。